

私を変えた歌

リョウ・ジョウホウ

今ここにいる皆さんの中で「運命的な出会い」をしたことがある、と胸を張って言える人はどれくらいいますか。大切な人でも、本でも、映画でも、名言でも、なんでもいいです。わたしの場合、それは一曲の歌でした。私は日本のメタルバンドが好きで、受験勉強の時もよくストレスを解消するために聞いていました。日本語の歌詞はあまりわかりませんでしたが、そのリズムはいつも焦りで苛立つ心を落ち着かせてくれました。

ですが、日々重苦しくなったストレスでその効果も段々薄れていき、むしろさらに焦燥感を煽るようになっていました。あの時の私は毎日真剣に勉強しているにもかかわらず、周りに成績で置いて行かれて、落ち着いて勉強できず、家族に八つ当たりして、毎日すごくイライラしていました。しかしそんなとき、私は人生に大きな影響を与えた歌に出会いました。

それがあるバンドの「謳う」という曲です。あの時私はどうしても受験のストレスから逃げ出したい。普段なら注目してなかったはずの歌詞に耳を傾けました。それは運命的な出会いでした。「人は儂く小さい、それは覆らない、今は生き続けてその命を燃し続ける」そして「生きるという戦いは逆境の中で命を愛し続けるということ」私の人生はこの二つの歌詞によって大きく変わりました。

いままでの私は、挫折に耽って、「なぜ私はこういう苦痛を受けなければならない」とか「一生懸命勉強しても成績は上がらないし、いつそ諦めるか」など嘆いているばかりでした。

しかしこの歌詞を読んだあと、私はようやく気づきました、人は生まれたときから強い存在ではないので物事が順調に進むとは限らない。しかしそれは諦める理由にはなりません。なぜなら生きるということは苦しみに抗い続けて、逆境の中で人生の美しさを愛し続けることだから。

新たな視点を得た私はようやく焦らずに勉強することができるようになりました。そのあとも落ちついた心で一歩ずつ進んで、このペースを保ちながら確実に成績を伸ばしていて、無事大学試験を合格しました。

そして大学受験が終わった後、この勇気をくれた曲の歌詞の意味をインターネットでさらに深く知ろうとしました。しかし、まだ日本語教育を受けたことのない私にはとても難しいことでした。

自分を助けてくれたこの曲をきちんと理解したい気持ちが、日本語学科を選ぶ最後のひと押しとなり、私を日本語の世界へ導いてくれました。

そして今私はここに立って、こうして皆さんに私の経験を伝えることができています。私はこれからもあの歌詞のように生きるという戦いの中で命を愛する心を持って歩み続けますたとえ無力であっても足掻い続ける、たとえこの後の人生で人間関係、仕事などの困難に迫られたとしても、私は人生を愛する心を持って戦い続けます。生きるという戦い、私はこれからも戦い続けます
ご清聴ありがとうございました。